

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号、令和 5 年 3 月 27 日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

【研究課題名】 潰瘍性大腸炎の 5-ASA 治療による大腸粘膜治癒の予測因子に関する多施設観察研究

【研究機関名・長の氏名】 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

【研究責任者所属・氏名】 北海道大学病院消化器内科・光学医療診療部・助教 桂田 武彦

研究機関名	診療科（部署名）	研究責任者名	機関の長の氏名
札幌東徳洲会病院	IBD センター	前本 篤男	山崎 誠治
NTT 東日本札幌病院	消化器内科	長島 一哲	吉岡 成人
北海道医療センター	消化器内科	清水 勇一	伊東 学
市立札幌病院	消化器内科	青山 慶哉	田中 博
釧路労災病院	内科	宮城島 拓人	篠原 信雄
市立函館病院	消化器内科	木下 賢治	森下 清文
北見赤十字病院	消化器内科	福島 新弥	荒川 穰二
岩見沢市立総合病院	消化器内科	得地 祐匡	高橋 典彦

【研究の目的】

潰瘍性大腸炎の患者さんを対象に、5-ASA（5-アミノサリチル酸）を用いた治療による粘膜の治癒について検討します。この研究を行うことで 5-ASA 治療のみで粘膜治癒まで達成できる患者さんを予測することができる可能性があり、潰瘍性大腸炎の患者さんの予後改善につながるものと考えております。

【研究の方法】

○対象となる患者さん

2015 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日の間に、当院に通院又は入院歴がある潰瘍性大腸炎患者さんのうち、同期間に初回 5-ASA 製剤を開始された 12 歳以上の方を

対象とします。

○利用する情報

＊2015 年 1 月 1 日から 2029 年 12 月 31 日までの以下のカルテ情報を収集します。

情報：年齢、性別、診断名、投薬情報、症状、身体所見、検査結果（血液検査、便検査結果、尿検査結果、画像検査、病理診断結果）など

○送付方法

この研究は、上記の研究機関の潰瘍性大腸炎の患者さんの治療を行っている機関で実施します。上記のカルテ情報は解析のために北海道大学病院に電子的配信で送付します。

[研究実施期間]

実施許可日（情報の利用・提供開始：2025年11月頃）～2030年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

＊上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は 2029 年 12 月 31 日までに以下にご連絡ください。

[北海道大学病院（研究代表機関）の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院消化器内科 担当医師 桂田 武彦

電話 011-706-6033 FAX 011-706-7867

[当院（共同研究機関）の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市東区北33条東14丁目3番1号

札幌東徳洲会病院 IBDセンター 施設責任者 前本 篤男

電話：011-722-1110（代表）